



大阪経済記者クラブ会員各位

グローバル・イノベーション・フォーラム（GIF）2022 特設ウェブサイトのオープンについて

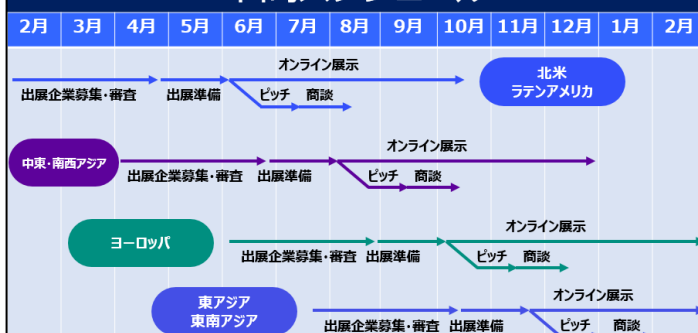
【お問合せ】大阪商工会議所 国際部 長尾、館林
TEL:06-6944-6400

大阪商工会議所は、世界中から先進的な技術をもったスタートアップが集い、オンライン展示、ライブピッチ、個別商談会を行う「グローバル・イノベーション・フォーラム（GIF）2022」の特設サイトを、5月30日にオープンする。GIF2022では、カーボンニュートラル、アグリ・フードテック、DX、新素材等において最先端技術・製品を有するスタートアップを、北米・ラテンアメリカ編、中東・南西アジア編、ヨーロッパ編、東アジア・東南アジア編の4地域に分け年4回開催する。今回はまず北米・ラテンアメリカ編のオンライン展示をオープンする。GIFでは日本企業と海外の先進技術をもつスタートアップ企業を結びつけ、「イノベーションが集い、ビジネスを創出する出会いの場・大阪」の実現を目指す。同フォーラムの開催は本年度で4回目。

<開催概要>

- 日程：（北米・ラテンアメリカ編） 2022年5月30日（オンライン展示オープン）
2022年6月28日（基調講演+ライブピッチ）
2022年7月12,13日（個別商談会）
（中東・南西アジア編） 2022年7月29日（オンライン展示オープン）
2022年8月30日（基調講演+ライブピッチ）
2022年9月13,14日（個別商談会）
（ヨーロッパ編） 2022年9月30日（オンライン展示オープン）
2022年10月27日（基調講演+ライブピッチ）
2022年11月9,10日（個別商談会）
（東アジア・東南アジア編） 2022年11月15日（オンライン展示オープン）
2022年12月13日（基調講演+ライブピッチ）
2023年1月17,18日（個別商談会）
- 場所：いずれも完全オンラインで配信
（特設ウェブサイト URL）<https://gif.osaka.cci.or.jp/> ※5月30日にオープン
- 主催：大阪商工会議所、大阪外国企業誘致センター（O-BIC）
- 共催（予定）：独立行政法人日本貿易振興機構大阪本部、公益財団法人大阪産業局、神戸商工会議所、京都商工会議所、一般財団法人大阪国際経済振興センター（IBPC 大阪）、大阪イノベーションハブ（OIH）、都心型オープンイノベーション拠点「Xport」、次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）
- 協力：一般財団法人貿易・産業協力振興財団など
- 参加費用：メインプログラムへの参加費、通訳サポートなどすべて無料
- 出展企業：海外の対象4地域で活躍し、7つの対象分野（XR、ロボティクス、DX、アグリ・フードテック、ヘルステック、新素材、カーボンニュートラル・グリーンテック）のいずれかに取り組むスタートアップが毎回6~10社参加。

年間スケジュール



出展対象分野

出展企業のビジネス領域・技術領域として、以下の7分野の少なくとも1つに該当するものとする。

- ① AR・VR・MR
- ② ロボティクス
- ③ DX
- ④ アグリ・フードテック
- ⑤ ヘルステック
- ⑥ 新素材
- ⑦ グリーンテック・カーボンニュートラル・新エネルギー



<GIF2022 3つのメインプログラム>

1. オンライン展示

先進的スタートアップ等が特設サイト上にオンライン出展。
自社製品・サービスの説明や日本企業との連携で求めることをアピールする。
ライブピッチ終了後はピッチ動画を展示内にアップ予定。

2. ライブピッチ

出展各社が登壇し、日本企業との連携希望内容をライブ配信でアピール。Q&Aパートもライブで行われる。ライブピッチ終了後は視聴者投票による「大阪へ招待したいスタートアップ」を毎回選出。選出スタートアップを1～2月に大阪へ招待することで、日本企業は選出スタートアップとリアルでの商談実施が可能となる。

3. オンライン商談

オンライン展示やライブピッチを通じ関心を持った出展企業とのオンライン個別商談会。
GIF 特設サイトを通じた申込み、スケジュール調整が可能。
全ての商談に無料で通訳を手配。

<GIF2022 北米・ラテンアメリカ編が開幕>

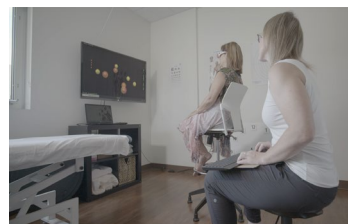
GIF2022 の最初のプログラムとして北米・ラテンアメリカ編を開催。

まずはオンライン展示が、5月30日のGIF特設サイト開設と同時にオープン
北米・ラテンアメリカ編では、GIF初参加国となるコロンビアからの出展企業3社を含む7社が出展。6月28日には基調講演とライブピッチ、7月12日・13日には出展企業との個別商談会を開催する。出展企業情報やプログラムの詳細案内、申込はGIF特設サイトにて確認可能。

<北米・ラテンアメリカ編 出展企業の例>

1) NeuroTracker 社 (カナダ)

特許取得済みの3Dトレーニングツール(眼鏡タイプ)。モントリオール大学の研究に基づいており、軍事でのパフォーマンス向上やスポーツエリート層に利用されている。現在、ADHDおよびアルツハイマー病のモニタリングに使用するための研究および規制当局の承認を受けている。



2) BIOTERMICA INNOVATION 社 (コロンビア)

残留バイオマス(WWTP、スラッジ、肥料、収穫、都市、食品廃棄物、および工業用)を熱化学プロセスにより、植物燃料、水、バイオ炭、合成ガスなどを生成するモバイル型植物再エネルギー化設備を提案する。

3) IUNU 社 (アメリカ)

より効果的・効率的な商業用温室栽培を実現する、2つの技術を含むアプリケーションを提案する。一つは施設のすべての操作を単一プログラムで管理するソフトウェア、もう一つはAI、コンピュータービジョン、および作物の上を移動するロボット光学スキャナーを使用し、植物の健康管理・害虫発見・適切な収穫時期の提言を行う技術。

4) Mirai Innovation 社 (メキシコ)

①Wevex は、EEG を既存のVRヘッドセットに統合し、脳信号の監視を3D開発エンジンとサードパーティアプリケーションにもたらずハードウェアおよびソフトウェアプラットフォームであり、次世代のビデオゲームやメタバースアプリケーションを作成するための強力な新しいツールとなる。
②MiraiSense は、動画広告を視聴する消費者の脳信号と視線追跡データを取得して分析するソフトウェア、およびハードウェアソリューション。認知的注意量を測定することで、例えば広告代理店などに有用な、動画広告の影響や効果の情報を提供する。



以上

<添付資料> 「GIF2022 開催概要」